

サーブルで優勝 フルールは3位

フェンシング・全日本学生王座決定戦

6月2日、京都府・大津市山崎町体育館で全日本学生フェンシング王座決定戦が行われた。関東・関西の両学生リーグ戦上位3校がトーナメント方式で争い、大学チャンピオンを決する今大会。専大は女子サーブルが優勝、女子フルールが3位に入賞した。

【サーブル】初戦は中京大に逆転勝利。続く準決勝は早大を終始圧倒し、45-28の大差でリーグ戦の雪辱を晴らした。迎えた決勝戦は関西の強豪・朝日大と対戦。相手の大応援の中、専大は雰囲気にもまれまいと、



▶ 新田(中央)ら一人ひとりの健闘がチームを勝利に導いた

【フルール】けがの鈴木莉奈(商3・聖霊女子短大附高)に代わり、安部夏帆(商1・聖霊女子短大附高)が出場。準決勝で日大に敗れたものの、3位決定戦は接戦の末、日女体大に勝利した。

高橋風子(商2・聖霊女子短大附高)は「初出場で緊張している安部を川村理紗(商2・揖斐高)と2人でフォローした。結果は3位だが、次につながる試合ができた」と語った。

(森本雅美・文2)写真



▲ 優勝を喜ぶ左から百崎、新田、滝澤 (サーブル)

6月28日から30日までの愛知県豊田スカイホールで全日本大学総合卓球選手権大会(団体の部)が行われ、女子が準優勝で大会を終えた。

準々決勝で金城大を3-1、準決勝では立命大を3-0とストレートで降し、順調に決勝へと駒を進めた。決勝の相手は

卓球・全日本大学総合選手権

淑徳に惜敗 女子が準優勝

9回の優勝経験を持つ強手の劉莉莎(商3・日南豪・淑徳大。専大は1番学園高)が淑徳大のエース・松澤を3-1で破る。その後、2試合を奪い返されてしまうも4番手の庄司有貴(文1・青森山田高)が圧勝し、2-2と互角の戦いを見せた。最後は力及ばず敗戦となったが、リーグ戦同様、チームを引っ張った劉は「部員の懸命な応援のおかげで最後まで自分のプレーができた。だからチーム全員で取った準優勝だと思っている。今回



▲ 結果を残した女子のメンバー



5月30日から31日までの所沢市民体育館で行われた関東学生卓球新人選手権では、女子シングルの鈴木李茄(商1・青森山田高)が優勝した。

トーナメントを順調に進んだ鈴木は、決勝で日体大の温馨と対戦。1-1で迎えた大事な第3セットを見事ものにして流れに乗ると、続く第4セットも連取。「新人戦優勝」のタイトルを手にした。

(湯澤時生・人間科学)

鈴木が優勝

来年は後輩たちに優勝してもらいたい」と語り、

男子は1回戦で甲南大に3-0と快勝したものの、続く法大戦を落とすし、ベスト16だった。

ゴルフ・全国大学対抗戦

女子3位 男子は6位

全国女子大学ゴルフ対抗戦が6月19、20の両日、北海道オクウッドゴルフクラブ(6182ヤード)で行われ、専大は3位に入賞した。

対抗戦は各大学5人が出場し、上位4人のトータルスコアで順位を決める。専大は初日、西山美希(経2・厚木北高)が71、高山が71、高



▶ 3位と健闘した女子



▶ 活躍した高山

高山は「自分としては納得できる内容でなかったが、スコアを崩すことなくプレーできた。9月のTOPY CUP(日米ゴルフ協会主催)で優勝した。専大は初日、西山美希(経2・厚木北高)が71、高山が71、高

大学対抗選手権)では、今度こそみんなで優勝したい」と振り返った。

また、男子の全国大学ゴルフ対抗戦が同日、同会場(7080ヤード、パー71)で行われ、専大は2日間トータル587で6位。男女でTOPY CUP出場を決めた。

4勝3敗で4位

水球・関東学生リーグ

5月25日から6月23日まで、専修大学生田キャンパス総合体育館ほかに、関東学生水球リーグ戦が行われ、専大は4位に入る活躍を見せた。

開幕から日体大、早大、日大に連敗を喫するも、「チームが一つになれた」と按田大成主将(経4・富山北部高)が語る筑波大戦は7-6で競り勝った。勢いに乗った専大は続く中大、新潟産大、国際武道大に連勝し、4勝3敗で4位。上位4チームによる上位リーグに進出した。

上位リーグでは1勝も上げることができず悔しい結果となったが、按田主将は「上位チームとはまだ差がある。それでもインカレに向けて課題が見えたので、克服して3位以上を目指す」と次なる目標へ思いを新たにしていた。

(村上大晃・文3)写真



▲ インカレに向け、練習に力が入る

ONE DAY TEAMMATE 2013 プレーに歓声

6月29日から生田キャンパスなどで体育会の地域貢献活動「ONE DAY TEAMMATE 2013」が始まった。「楽しみながら、大学生のパワー・スピード・テクニックを体感しよう！」をコンセプトに毎年開催されているスポーツ教室で、初日はラグビー、水泳、テニスの各教室が実施された。

ラグビー教室=写真=では「タグラグビー」という初心者向けの競技を通して目一杯体を動かす子供たちの姿が見られ、大学生のパスやキックの実演には大きな歓声が上がった。村田互監督は「休日にも外に出て遊ぶことで心身ともに成長する。ラグビーを通して人間形成やルールを守る力を身につけてほしい」と話した。

水泳教室では水中から受講者を撮影し、フォームのチェックと改善方法を指導した。また、テニス教室ではサーブやラリーなどの練習後、大学生と小学生の混合チームによるゲームが行われた。参加者からは「楽しかった」という感想が聞かれた。男子テニス部の野原鴻主将(経営4・足利工大附高)は「自分が競技を始めた頃を思い出す。これをきっかけに、初心を忘れずにプレーしていきたい」と語った。(村上=写真も)



専大スポーツ

大会結果 予定は体育会ホームページ 専大ホームページ「スポーツ」からアクセスください
専大スポーツ編集部 web(http://sensupo.web.fc2.com/)でも大会結果を配信しています

No.328